

さなだ

上田市真田地域自治センター 地域振興課 〒386-2292 上田市真田町長7178-1
有線2015 / TEL0268-72-2200(代表) / FAX0268-72-4140

祝 平成28年 上田市成人式



1月10日、平成28年上田市成人式が市内7会場で行われました。真田中央公民館で行われた式典には、112人の新成人の皆さんが出席し盛大に開催されました。

地域のイベント情報

真田地域のイベント&スポーツ大会等 (☆印さなだスポーツクラブ主催)

- 3月 16日 ▶ 真田中、菅平小中学校卒業式
- 17日 ▶ 長、傍陽、本原小学校卒業式
- 18日 ▶ すがだいら保育園卒園式
- 19日 ▶ 2016シリーズ文化講演会(真田中央公民館)
▶ おはなし広場(真田図書館)
- ▶ さなだ・そえひ保育園、いずみ幼稚園卒園式
- 4月 4日 ▶ 町内保育園入園式
- 5日 ▶ いずみ幼稚園入園式
- 6日 ▶ 真田地域小中学校入学式(予定)
- 16・17日 ▶ 桜フェスタ(☆)
- 5月 8日 ▶ 第57回真田地域体育祭
- 15日 ▶ お屋敷つつじ祭り

ふれあいさなだ館イベント情報

- 4月20日 ▶ 三味線と踊りの集い たきじかい てるなかい 頼貴次会&輝名会
- 5月18日 ▶ つちやちあき 土屋千明歌謡ショー

※イベントは全て大広間ステージで12:30から行われます。
※入館料が必要です。

【定期開催】

- ヨガ&ストレッチ…講師 くらさきなおこ 倉崎直子

4月13日・5月11日(第2水曜日のみに変更になりました)

10:30~11:30 当日受付(予約不要) 入館料とは別に参加料500円

問 真田温泉ふれあいさなだ館 有線 2230 ☎ 72-2500

第5期真田地域協議会 活動報告

	月 日	主な協議事項
平成26年度 第1回	4月15日	・真田地域自治センター 平成26年度各課の課題・目標について（センター各課長説明）
第2回	5月14日	・協議テーマの検討について
第3回	6月25日	・協議会の目指す方向と協議テーマの絞り込みについて
第4回	7月30日	・わがまち魅力アップ応援事業審査 ・分科会の運営について
第5回	8月20日	・NHK大河ドラマ放送決定に伴う市での対応について ・分科会協議（NHK大河ドラマ放送に伴う真田地域での取組について、3分科会に分かれて協議）
第6回	9月17日	・地域振興基金の活用について ・分科会協議（NHK大河ドラマ放送に伴う真田地域での取組について、3分科会に分かれて協議）
第7回	10月29日	・わがまち魅力アップ応援事業審査 ・真田地域上下水道事業について（上下水道課報告） ・NHK大河ドラマに係る分科会協議の報告及び協議結果の取扱いについて
第8回	11月19日	・都市計画マスタープラン策定及都市計画道路の見直しについて（都市計画課説明） ・分科会協議 次のテーマごと3分科会に分かれて協議 （第1分科会:「特色ある観光の振興」 第2分科会:「(仮)安心して暮らせる地域づくり(生活環境)」 第3分科会:「(仮)安心して暮らせる地域づくり(健康、福祉)」 ※第2、3分科会は、協議範囲が広いため仮テーマとして決定)
第9回	12月17日	・傍陽小学校6年生による「ふるさと傍陽の未来」の学習成果発表及び児童と委員との懇談 ・第二次上田市総合計画策定における地域まちづくり方針見直しに係る諮問について（政策企画課説明） ・地域内分権の推進について（市民参加・協働推進課説明） ・平成26・27年度 真田地域の地域振興基金の活用について（各担当課長説明）、承認
第10回	1月21日	・平成27年度 市役所組織改正について（人材開発課説明） ・第二次上田市総合計画「地域の特性と発展の方向性」について（諮問）、審議
第11回	2月18日	・第二次上田市総合計画「地域の特性と発展の方向性」について審議 ・平成26・27年度 真田地域の地域振興基金の活用について（各担当課長説明）、承認
第12回	3月17日	・わがまち魅力アップ応援事業 実績報告、継続事業は次年度の計画発表、新規申請事業の審査 ・第二次上田市総合計画「地域の特性と発展の方向性」について審議（3月27日答申）
平成27年度 第1回	4月22日	・真田地域自治センター 平成27年度各課の目標及び予算について（センター各課長説明） ・平成27年度 地域協議会で取り組む課題等について ・分科会協議（第1分科会:真田地域の観光について 第2分科会:委員変更に伴い正副分科会長の選出 第3分科会:協議テーマの検討）
第2回	5月20日	・地域内分権の確立に向けて（地域振興課説明） ・分科会協議（第1分科会:真田地域の特産、お土産について 第2分科会:協議テーマの検討 第3分科会:協議テーマの検討）
第3回	6月26・27日	・地域内分権に係る先進地視察 「三重県松阪市 幸まちづくり協議会」（真田地域自治会連絡会議合同）
第4回	7月29日	・わがまち魅力アップ応援事業審査 ・地域内分権 先進地視察の報告
第5回	8月19日	・地域経営会議設立に係る検討会議の日程等について（地域振興課説明） ・分科会協議（第1分科会:NHK大河ドラマ真田丸放送に伴う来訪者へのおもてなしについて 第2分科会:真田地域の遊休荒廃農地の状況について 第3分科会:協議テーマ決定「誰もが安心して地域で暮らしていける福祉の町（安心して暮らせる地域づくり）」）
第6回	9月24日	・新生上田市建設計画の変更の諮問について（事前説明） ・分科会協議（第1分科会:真田地域の観光情報の発信について 第2分科会:空き家バンク制度について 第3分科会:地域と学校との関わりについて）
第7回	10月21日	・わがまち魅力アップ応援事業審査 ・新生上田市建設計画の変更に係る諮問及び審議（10月21日答申）
第8回	11月18日	・分科会協議（第1分科会:平成23年作製の真田地域の観光戦略の資料と現状について 第2分科会:真田地域の現状と活性化に向けて 第3分科会:自治センターを中心とした住みやすい地域づくりについて）
第9回	12月16日	・平成27・28年度 真田地域の地域振興基金の活用について（各担当課長説明）、承認 ・分科会協議（第1分科会:真田地域の観光戦略の案とPR方法について 第2分科会:真田地域の活性化について 第3分科会:自治会や小学校区を中心とした地域づくりについて）
第10回	1月26日	・分科会協議（各分科会最終報告案の検討）
第11回	2月17日	・平成27・28年度 真田地域の地域振興基金の活用について（各担当課長説明）、承認 ・各分科会協議の最終報告
第12回 （予定）	3月23日	・わがまち魅力アップ応援事業 実績報告、継続事業は次年度の計画発表、新規申請事業の審査

各分科会活動報告

第1分科会

テーマ
特色ある観光の
振興に向けて

1 はじめに

第1分科会では、上田市総合計画真田地域まちづくり方針にある「特色ある観光の振興」について、具体的な取組みなどを検討する必要があると考え話し合いを進めました。

真田地域の歴史、文化、伝統、自然などの観光資源を活かすことで地域の活性化を目的に、平成23年度、関係者の皆さんが、真田地域の観光戦略について何度も検討を重ね取りまとめた資料があります。

しかし、数年が経過した今、地域の環境も変化していることから、この資料を基に、当時含まれていなかった菅平高原の観光戦略を加え、再検討することで、観光振興や地域産業の活性化が図れる一助になるのではと考え、課題を出し合い整理、検討し観光振興に何が必要かを協議しました。

2 現状と課題

①現状：真田地域の観光の特色は、菅平高原とそれ以外の地域（以下、本報告では真田郷という。）に分けることができます。菅平高原は上信越高原国立公園に属し、夏はラグビーをは



改装されたゆきむら夢工房のお土産処

として知られています。

真田郷は2016年NHK大河ドラマ「真田丸」の主人公、真田信繁（幸村）公で有名な真田氏発祥の郷として、歴史ファンの注目を集めています。

真田地域は豊かな観光資源に恵まれています。菅平高原では観光客の減少、真田郷では大河ドラマが決まり各種整備が進んでいるものの、まだ不十分な面もあります。

②主な課題

(1)真田郷では、大河ドラマが決まり施設整備は進んだが、ソフト事業の充実が必要。

(2)観光の誘客要因である「食」に独自性がない。

(3)菅平高原では、観光客減少に歯止めをかけるため新たなメニュー作りが必要。

(4)観光情報などの情報発信がうまくできていない。

(5)地元の子ども達に歴史や文化を知ってもらう機会が少ない。

(6)観光客から意見を聞く事も必要。（アンケート実施等）

3 協議内容報告

観光振興のために何が必要か、次のとおりまとめました。

(1)「真田氏発祥の郷」が映える、まちづくりの推進

NHK大河ドラマ「真田丸」の放送による観光客の来訪を、持続させるための施策。

(2)真田の農業と食を活かした、6次産業の推進

高原野菜、米、ブルーベリー、大豆など豊富な真田産農産物を活用し、真田ブランドとして販売につなげる施策。

(3)菅平高原における、ラグビーワールドカップ2019及び2020オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致、スポーツセラピーの推進

今後開催される国際大会等の合宿地誘致や、スポーツセラピー（スポーツを通じ健康増進を図る）の拠点として菅平高原を整備しPRする施策。

(4)真田地域の魅力を効果的に発信する企画やシステムの開発推進

情報を正確かつ迅速に発信するために、多様な情報網（インターネット、ご当地キャラなど）を利用し、全国さらには世界へ発信する仕組み作り。また、地元の子ども達に歴史や文化を知ってもらうための機会を増やす施策。

4 おわりに

平成23年の資料と比較すると、進んだ事業がある一方で、進んでいない点も確認できました。また、検討の中で、真田地域には歴史資産や、素晴らしい自然に優れた観光資源がたくさんあ

第2分科会

テーマ
安心して暮らせる
地域づくり

ることを再認識しました。この観光資源の活用方法が重要であり、観光に生かすことによって地域の振興に繋げ、誰にも愛される真田地域になることを望みます。

第2分科会では、「遊休荒廃農地の増加」と「空き家の増加」の、2点の生活環境上の課題について協議しました。

1 現状と課題

①農地の荒廃について：真田地域の農地の遊休農地率は13.93%（市全体：9.98%）。市等が農地の貸借や新規就農促進などに努めています。荒廃農地の増加が続いています。

主な要因としては、少子高齢化による耕作者の減少に加え、中山間地域の農地条件の悪さ、農産物の安値などにより採算をとることが難しいこと等があげられます。

②空き家の増加について：今年度、市が各自治会に依頼し、空き家の調査を実施、現在集計中です。今後、市の現地調査を経て、来年度末には、実態が明らかになる見込みです。真田地域の空き家数（1月末現在集計数：住宅以外の事務所等も含む）は、229件となっています。

市が実施している「空き家バンク制度」では、平成27年9月現在、真田地域の登録件数6件、成約件数（売買）2件という状況です。

2 課題解決に向けて

①農業の振興と6次産業化
～農地・空き家等の活用を～

(1)採算のとれる農業をめざし、活性化組合等で取り組んでいるブルーベリーやそば等の振興に加え、りんご等従来から栽培され評価の高い作物も活用し、「真田ブランド化」を進めてはいかがでしょうか。

(2)農産物生産・加工・販売を一貫して取り組む、6次産業を推進します。例えば、大豆を原料にした様々な加工食品をつくり、観光産業との連携を図ってはと考えます。

②多様な農地活用
(1)楽しみと健康づくりを兼ねた、中高年齢者の農地活用や、水士里会のような、農地を守りながら仲間づくりを進める活動も拡大すべきと考えます。

(2)果樹のオーナー制など、交流の付加価値をつけた農業を望む意見もありました。



野沢菜畑



真田地域公共交通利用促進協議会だより

ギャラリーバスを運行しました

2月1日から29日まで、真田地域内を走る路線バスの車内に、真田町文化協会の皆さんの写真、書画など計40枚が展示されました。美しい風景写真や、心あたたまる書画で、乗客の目を楽しませてくれました。



回数券・定期券

特別販売のお知らせ

上田バス㈱の回数券または定期券をご購入された方に景品をプレゼントします。
大勢の皆さんご利用ください。

★プレゼント期間▶3月15日(火)から4月14日(休)まで

★対象路線

菅平線・真田線(渋沢線)・傍陽線・御屋敷公園線

★回数券の種類

2,000円セット(2,200円分) ※各セットには50円・100円等の券が含まれています。
3,000円セット(3,300円分)
5,000円セット(5,500円分)

★販売場所

定期券▶別所線上田駅・ジェイエイ長店
回数券▶上記取扱店のほか、ローソン上田真田町店・駅前食堂・ダック菅池・菅平高原国際リゾートセンター・上田バス㈱上田営業所・バス車内

問 真田地域公共交通利用促進協議会(地域振興課内) 有線2011 ☎72-2201(直通)



真田氏を学び、
交流を深めよう

福岡岡垣町の児童17名が、12月23～28日まで国内ホームステイ交流事業として真田地域を訪れ、スキーやそば打ちを体験したり、ホストファミリーと交流をしました。

24日の学校交流会では、傍陽小学校を訪れました。傍陽小学校では毎年、真田氏カルタ集會が行われ、真田氏について学んでいます。この日は、5年児童が真田氏やカルタについて説明をした後、12班に分かれてカルタ取りを楽しみました。



健やかな
成長を願って

戸沢自治会で2月8日、恒例のわら馬引きが行われました。朝8時ころ、家族に見守られながら、就学前の子どもたちがわら馬を引き道祖神に集まってきました。そして、母親と一緒に、各家庭で作られた「ねじ」を道祖神にお供えしお参りました。

お参りの後は、母親たちが「ねじ」を交換し合い、子どもたちの無病息災を願いました。



- ③定住の促進：真田地域で暮らし続けたい、転入して住みたいという人をいかに増やすか検討しました。
- (1)地域の「魅力」を高めるために、農業の振興、自然、歴史・文化、スポーツなどの地域資源の連携による産業の活性化、交流促進が必要です。
- (2)若者が定着するために、出会いの機会を増やす取り組みや、子育て支援制度の拡充、公営住宅の整備も検討してはどうでしょうか。
- (3)空き家バンク制度の充実を図るとともに、空き家状況調査の結果を分析し、空き家の利活用促進と危険防止対策を進める必要があります。
- (4)「みんなで取り組む」協働によるまちづくりが、地域の魅力アップにつながります。
- ③ おわりに
- 協議回数数の制約もあり、個々の施策等の具体的検討はできませんでしたが、協議を通じ、魅力のある、誰もが「ここで暮らしたい」と思うまちづくりを進めたいという思いを強くもめました。
- 今後、それぞれの立場で考えていきたいと思います。
- 第3分科会では、真田地域の
- ①問題・課題：
- (1)交通が不便
- (2)福祉体制や福祉教育の不足
- (3)コミュニティの場がない
- (4)空き家、空き地、雇用、飲食など真田地域の情報提供がない
- (5)商店がない
- (6)働く場所が少ない
- (7)農業離れ
- (8)医療不足
- ②施設やサービスなどで活用できそうなもの・提案
- (1)ふれあいさなだ館等の送迎バス、オンデマンド型タクシーやバス
- (2)空き地を利用し介護施設や商店等雇用の場の創設
- (3)介護支援ができるよう地域内での人材育成
- (4)福祉施設との関わりと福祉教育
- (5)自治センターの空き部屋、学校の教室、老人福祉センターをコミュニティの場に
- (6)ゆきむら夢工房の施設利用
- (7)中学校給食室で福祉の食事作り
- (8)自治センター内に売店、JAのATM設置
- (9)食品等の移動販売車
- ③真田地域のビジョン
- (1)働く場所や転入メリットがあれば住む人が増えるのでは
- (2)学校施設を利用し、真田産産物などを加工・生産。真田ブランド作りで雇用創出
- (3)農業収入だけで生活ができれば就農者がいるのでは。休耕地の情報提供
- (4)地域内での人材発掘と育成
- (5)子育て支援や医療機関の充実
- (6)ボランティアの活用
- ③ 誰もが安心して地域で暮らせる福祉の町のために
- ◆真田に住みたいと思い、転入してくる人が増えるようにこれらのために、人との交わりや助け合いなどが大切だと考えました。各小学校の空き教室などに、住民が集まり語り合う。そこに児童や生徒も入り情報交換をする。小学校は広域避難所でもあり、日頃から多くの人が学校を利用することで、有事の際にも活用しやすいと思います。しかし、諸理由で小学校に来ることができない人もおり、その方との繋がりととして、隣近所での声の掛け合い、見守りが必要だと思えます。また、高齢になると、重い物を持つ、電球の取

第5期 真田地域協議会委員名簿(敬称略)

任期:平成26年4月1日～平成28年3月31日
(備考欄※印は選出団体の役員変更に伴う前任委員と任期)

	氏名	選出団体等	備考
会長	小林 満子	農村女性ネットワークさなだ	
副会長	一之瀬 勤	個人依頼	
第一分科会	田中 新平	公募	第1分科会長
	縺澤 剛史	菅平高原観光協会	第1副分科会長
	一之瀬 勤	個人依頼	真田地域協議会副会長
	長崎理恵子	公募	
第二分科会	藤澤果美子	勸上田市体育協会真田町体育協会	
	若林 正徳	真田町商工会	
	松井よし枝	真田地区民生児童委員協議会	第2分科会長
	小林 正男	長地区自治会連合会	第2副分科会長※小宮山民夫～H27.3.31
第三分科会	荒木 仁子	真田地域長寿会	※堀内 朝子～H27.4.31
	酒井 佐吉	長地区自治会連合会(菅平)	※竹村 昇吉～H27.3.31
	田中 実	本原地区自治会連合会	※小林 史夫～H27.3.31
	両角新三郎	傍陽地区自治会連合会	※堀内 辰一～H27.3.31
第四分科会	横林 梨恵	真田地域保育所連合保護者会	※重野 寛子～H27.3.31
	宮下 俊哉	個人依頼	第3分科会長
	長崎伊登子	真田町文化協会	第3副分科会長
	神林 恵子	真田地域健康推進委員会	※村田 眞理～H27.3.31
第五分科会	小林 満子	農村女性ネットワークさなだ	真田地域協議会会長
	竹村 尚美	さなだ共同参画ネットワーク	
	中村 泉	真田地区PTA連絡会	
	宮島 国彦	個人依頼	※三井 秀雄～H27.3.31

問 地域振興課地域政策係 有線 2015 ☎72-2202



小学校を借りて
地域イベントを開催

もができる助け合いです。そして、自治センター周辺を核に生活サービス提供の集約化を図り、各校区や地域間を結ぶ交通体系を整備することで、地域内でサービスを受けることができると思います。

福祉施設へも、誰もが立ち寄り、利用者の方とふれあうことが大切です。

4 おわりに

障がい者や高齢者、子どもをはじめ、社会的弱者が生活しやすい環境は、誰にとっても生活しやすい環境であり、定住につながると思います。

人との関係や人との支え合いなど、『人』は社会を形成して『幸せ』を感じることができ、人と人が温かく交わりつながら暮らしている社会となるとを望みます。

で、自分にも出来ることも見えてくると思います。

今後、さらに具体的に協議し、地域で助け合える土壌づくりのために深く研究する必要があります。



真田図書館通信

おすすめの新着本



【一般書】

- 赤めだか…………… 立川 談春/著
- 笑顔千両…………… 宇江佐 真理/著
- 江戸あきない図鑑…………… 高橋 幹夫/著
- 掟上今日子の退職願…………… 西尾 維新/著
- 帰蝶…………… 諸田 玲子/著
- 体の使い方を変えればこんなに疲れない!
…………… 岡田 慎一郎/著
- 五郎丸日記…………… 小松 成美/著
- 職人男子…………… 職人男子編集部/編
- 18歳から考える国家と『私』の行方 西・東巻
…………… 松岡 正剛/著
- 杉浦千畝と命のビザ 自由への道
…………… ケン・モチズキ/作
- 地に巣くう…………… あさの あつこ/著



【子どもの本】

- いちばんのなかよしさん…………… エリック・カール/作
- オオカミのはつこい…………… きむら ゆういち/ぶん
- おやすみなさい くまくん
…………… パッツイ・スキャリー/作
- こころころ…………… 元永 定正/さく
- シロガラス4…………… 佐藤 多佳子/著
- だいおういかのいかたろう
…………… ザ・キャビンカンパニー/作
- だんまりうさぎとおしゃべりうさぎ
…………… 安房 直子/作



【郷土の本】

- 真田三代の挑戦…………… 平山 優/著
- 真田三代全国史跡オールガイド…………… 三栄書房/出版
- 真田歴読本…………… KADOKAWA/出版
- 真田幸村と真田一族のすべて…歴史謎解き研究会/著



「真田丸コーナー」を 設置しています



大河ドラマ「真田丸」の放送も始まり、毎週テレビにくぎ付けになって一喜一憂しながら視聴していらっしゃる方も多いと思います。

出版界でも近年まれに見る出版ブーム?と思われるくらい、書店では「真田丸」効果で

次々に関連書籍が出版されています。真田図書館でも、昨年から真田丸コーナーを設けて多くの真田丸関連本を置いていますので、ぜひご覧ください

みんなで支え合う 図書館運営を目指して



1月23日、松本大学松商短期大学部教授の篠原由美子先生をお迎えし、「図書館運営とボランティア活動」と題してご講演頂きました。

真田図書館が開館して5周年。市民協働をコンセプトとする図書館として、公共図書館とは、ボランティア活動とはなどについて改めて見つめなおす良い機会になりました。



真田図書館 休館日カレンダー

赤字が休館日です

♪開館時間 火～金▶9時～18時30分 土日▶9時～17時♪

平成28年3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

平成28年4月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

平成28年5月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

問 真田図書館 有線 2003 ☎ 72-8080